

The 52nd Scientific Meeting of the Japanese Medical Society for
Lung Surfactant and Biological Interface

日本肺サーファクタント・ 界面医学会 (旧 日本界面医学会)

第52回学術研究会

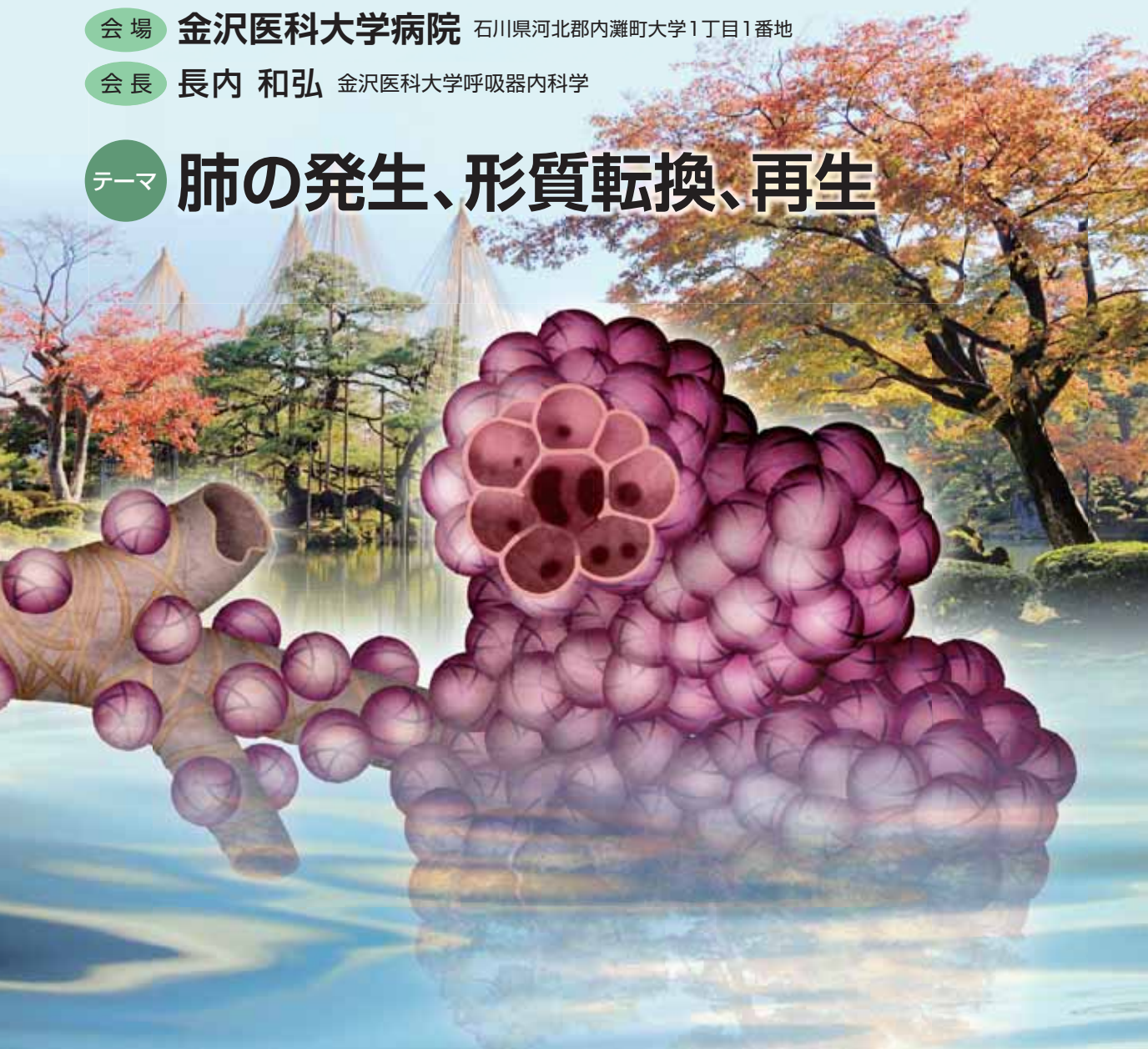
肺サーファクタントおよび
界面現象に関する学術集会

会期 2016年 10月29日(土)

会場 金沢医科大学病院 石川県河北郡内灘町大学1丁目1番地

会長 長内 和弘 金沢医科大学呼吸器内科学

テーマ 肺の発生、形質転換、再生



第52回日本肺サーファクタント・界面医学会学術研究会

開催にあたって

日本肺サーファクタント・界面医学会第52回学術研究会

会長 長内 和弘 金沢医科大学呼吸器内科学 特任教授

この度、日本肺サーファクタント・界面医学会の第52回学術研究会を金沢医科大学で開催させて頂くことになりました。伝統ある本学会の学術研究会会長の重任を仰せつかり大変光栄に存じております。

本学術研究会は、肺サーファクタントおよび生体の界面現象に関する基礎医学、臨床医学、理工学、物理化学、薬学、生物学などの研究者が集学的に発表、討議するユニークな全国規模の専門学会です。

肺サーファクタントは肺のガス交換やホメオスタシスの維持、感染免疫機構に重要であり、その異常は様々な呼吸器疾患の病因、病態に関わり、古くから研究が行われ、近年更に研究者の関心が高まっています。

第52回学術研究会では、テーマを「肺の発生、形質転換、再生」と題し、これらの分野での新進気鋭の研究者をお招きし、特別講演、ランチョンセミナーなどご講演いただくことになっております。また会長講演として、私がこれまでに関わってきた肺サーファクタントの研究内容をご紹介したいと存じます。本学術研究会が、肺サーファクタント・界面医学会の発展に少しでも寄与できる事を期待しております。

また参加者の皆様には、深秋に彩られた城下町金沢の風情にもぜひ触れて楽しんでいただければ幸いです。

役員会(理事会・評議員会)のご案内

役員会(理事会・評議員会同時開催)

日 時：平成28年10月28日(金) 17:00～18:00

場 所：金沢医科大学病院 新館12階 特別会議室
〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1-1
TEL：076-286-2211(代表)
URL：<http://www.kanazawa-med.ac.jp/~hospital/>

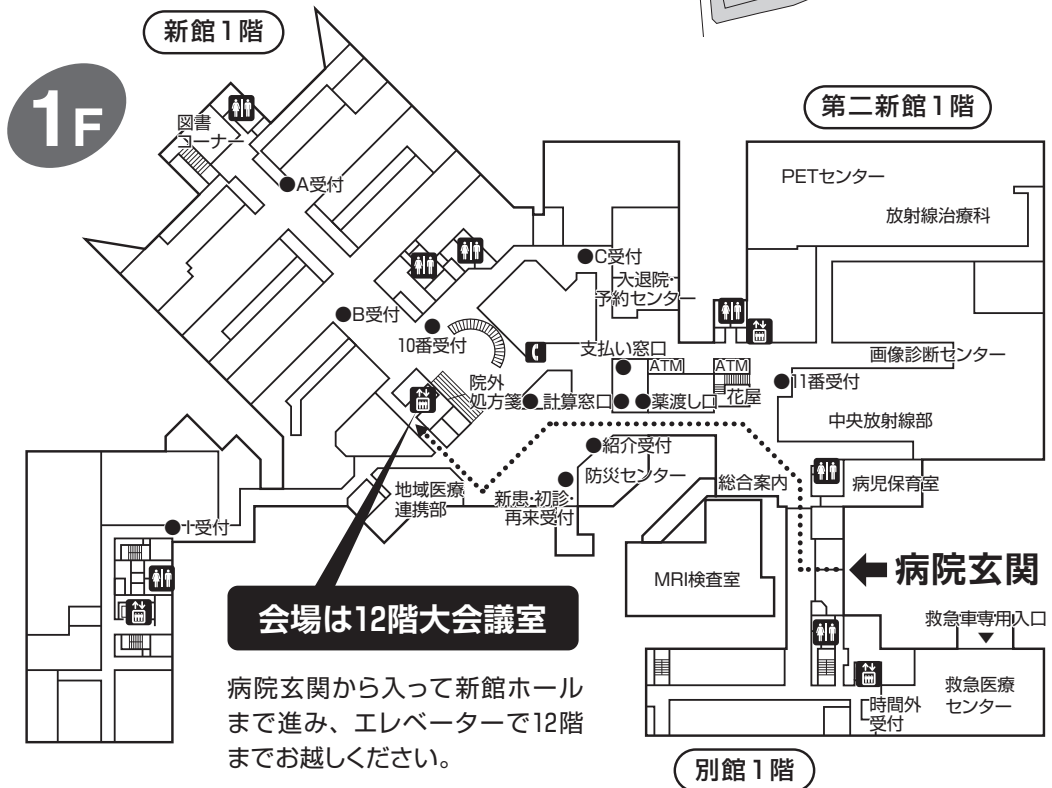
会場周辺図



交通アクセス

- 電 車 【北陸浅野川線】JR金沢駅そばの北鉄金沢駅から終点北鉄内灘駅まで電車に乗り、内灘駅から「医大病院」行バスに乗りください。
- バ ス 金沢駅西口から「医大病院」経由能登方面行の北鉄バスに乗りください（本数少）。
- タクシー JR金沢駅から、約20分。
- 車 北陸自動車道路を金沢東I.C.または金沢西I.C.で降り、国道8号線田中交差点から県道200号線を北上。清湖大橋を渡り向陽台1交差点を右折。（金沢東I.C.から約20分、金沢西I.C.から約30分）
- 飛行機 小松空港リムジンバスにて金沢駅まで約40分、その後上記交通手段。

フロア図



プログラム

9:00～9:05

開会あいさつ

第52回学術研究会会長 長内 和弘(金沢医科大学)

9:05～9:45

一般演題1

座長：井上 義一(近畿中央胸部疾患センター)

01 SP-D による EGFR 遺伝子変異陽性肺腺癌における制御機構

○梅田 泰淳¹⁾、長谷川 喜弘¹⁾²⁾、大塚 満雄¹⁾、黒沼 幸治¹⁾、
高橋 素子²⁾、高橋 弘毅¹⁾

1) 札幌医科大学医学部 呼吸器・アレルギー内科学講座、
2) 札幌医科大学医学部 医化学講座

02 原発性肺癌における SP-D 発現の臨床的検討

○吉川 匠、梅田 泰淳、大塚 満雄、黒沼 幸治、千葉 弘文、山田 玄、
高橋 弘毅

札幌医科大学医学部 呼吸器・アレルギー内科学講座

03 遺伝性間質性肺疾患の診断に関する研究

○早坂 格、池田 雅彦、卯月 ゆたか、秋元 琢真、長 和俊
北海道大学病院周産母子センター

04 自己免疫性肺胞蛋白症の血清中における B 細胞活性化因子

○広瀬 雅樹、松室 昭子、杉本 親寿、新井 徹、井上 義一
国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター 臨床研究センター

9:45～10:25

一般演題2

座長：長 和俊(北海道大学)

05 A 型インフルエンザウイルスによる肺炎の発症機構の解析(第一報)： コラーゲン収縮ゲル上で培養したラット肺胞Ⅱ型細胞による検討

○佐々木 裕¹⁾、小笠原 理恵²⁾、吉野 直人¹⁾、長内 和弘³⁾、
諏訪部 章²⁾、村木 靖¹⁾

1) 岩手医科大学 微生物学、2) 岩手医科大学 臨床検査医学、
3) 金沢医科大学 呼吸器内科学

06 乳幼児期マウスにも効果的なヒト肺サーファクタント由来経鼻粘膜
アジュバント SF-10の有効性と安全性の評価

○木本 貴士、金 惠珍、堺 聡子、高橋 悦久、木戸 博
徳島大学 生体防御・感染症病態代謝研究分野

07 肺サーファクタントと胎脂は早産児の腸管を保護する
～胎児期における肺-皮膚-消化器間相互作用の解明を目指して～

○西島 浩二、吉田 好雄
福井大学医学部 産科婦人科

08 当院におけるサーファクタント補充療法を受けた呼吸窮迫症候群児の成績：
最近の補充後の反応型と短期予後

○草野 修司、松本 敦、松本 聡子、鳥谷 由貴子、小西 雄、
外館 玄一郎、千田 勝一
岩手医科大学附属病院 小児科学講座

10:25～11:05

一般演題3

座長：諏訪部 章(岩手医科大学)

09 肺サーファクタント・ラメラ構造体の発生機序に関する
電子顕微鏡的研究(3)

○松村 豪一¹⁾、武井 恒智²⁾、千田 勝一²⁾、高木 孝士³⁾、小林 素秋⁴⁾、
高橋 響⁴⁾、中村 青翁⁵⁾
1) 信誠会 苅部太陽の家、2) 岩手医科大学、3) 日本電子(株)、
4) セプトサピエ(株)、5) 精生源(株)

10 培養装置付き蛍光・位相差顕微鏡によるラット肺胞Ⅱ型細胞の動的観察
～4分割マイクロチャンバーによるドーム形成の経時変化～

○諏訪部 章、小笠原 理恵
岩手医科大学医学部 臨床検査医学講座

11 アミオダロン肺障害発症への肺サーファクタントリン脂質合成亢進の関与

○北楯 祥子¹⁾、長内 和弘²⁾、佐久間 貴士²⁾、西木 一哲²⁾、中瀬 啓介²⁾、
野尻 正史²⁾、加藤 諒²⁾、高原 豊²⁾、齋藤 雅俊²⁾、小島 好司²⁾、
藤本 由貴²⁾、及川 理恵子²⁾、及川 卓²⁾、中川 研²⁾、水野 史朗²⁾、
梶 博久²⁾
1) 医療法人社団久医会 池田内科医院、2) 金沢医科大学 呼吸器内科学

12 p63は細気道の発達成熟を制御する

○橋本 修一¹⁾、Barry R Stripp²⁾

- 1) 福岡歯科大学 生体構造学講座 病態構造学分野、
- 2) Departments of Medicine and Biomedical Sciences, Lung and Regenerative Medicine Institutes, Cedars-Sinai Medical Center, LA

11:05～11:20

休 憩

11:20～12:20

特別講演 1

座長：橋本 修一（福岡歯科大学）

〔 発生と再生を幹細胞で繋げる 〕

森本 充 先生 国立研究開発法人 理化学研究所
多細胞システム形成研究センター 呼吸器形成研究チーム

12:20～12:30

休 憩

12:30～13:30

ランチョンセミナー

座長：高橋 弘毅（札幌医科大学）

〔 肺構成細胞間葉系形質転換がもたらす組織微小環境を 標的とした肺線維症と肺癌の治療戦略 〕

橋本 直純 先生 名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科

共催：帝人ファーマ株式会社

13:30～13:45

総 会

司会：長内 和弘（金沢医科大学）

13:45～14:15

会長講演

座長：梶 博久（金沢医科大学）

〔 肺サーファクタント研究の軌跡 ーラブ、チョコレート、ルビーの日々ー 〕

長内 和弘 先生 金沢医科大学 呼吸器内科学

14:15～14:30

休 憩

14:30～15:30

特別講演2

座長：中田 光（新潟大学）

〔 ヒト iPS 細胞を用いた呼吸器系上皮細胞研究 〕

伊藤 功朗 先生 京都大学医学部附属病院 呼吸器内科

15:30～15:35

次期会長あいさつ

第53回学術研究会会長 中田 光（新潟大学）

15:35～15:40

閉会あいさつ

第52回学術研究会会長 長内 和弘（金沢医科大学）

抄 録

会 長 講 演

特 別 講 演

ランチオンセミナー

一 般 演 題

肺サーファクタント研究の軌跡 —ラブ、チョコレート、ルビーの日々—

長内 和弘

金沢医科大学 呼吸器内科学

1982年に山形大学医学部を卒業し、同第一内科に入局し呼吸器内科を専攻した。同医局での研究テーマである肺胞疾患、とくに間質性肺炎・肺線維症、肺胞Ⅱ型上皮細胞について焦点をあてて研究を開始した。教室の研究手法が生理学であったため肺圧量曲線、表面張力を測定していたが、必然的に肺サーファクタント・Ⅱ型細胞に興味が移っていった。当時、呼吸器学の領域でも分子生物学が興隆してきた時期で、同研究分野にあこがれていたところ、米国デンバーのNational Jewish Centerに留学する機会を得た。Voelker教授のラボでⅡ型細胞での肺サーファクタントの分泌・輸送の研究を行った。後半は同ラボでラット肺cDNAライブラリーからSPD-cDNAのクローニング中に偶然発見されたRab38低分子量Gタンパク質の研究に打ち込んだ。同テーマは日本に持ち帰り、抗体の作成、肺組織でのIn situ hybridization、リコンビナントタンパク質の作成などを行った。ほどなくしてアメリカから眼皮膚型白皮症の形質を有するChocolateマウスの原因遺伝子がRab38であるとの論文が出た。そこでアメリカより同マウスを輸入し繁殖させ、その肺を観察したところ、Ⅱ型細胞内の層状封入体が巨大化し、気腫性変化が起きていることを発見した。この頃はわくわくしながら実験をしていた幸せな日々であった。さらに眼皮膚型白皮症、出血異常、間質性肺炎を呈するヘルマンスキー・パドラック症候群のモデルラットの原因遺伝子RubyがRab38であるとの論文が出てきた。ラットからは肺胞Ⅱ型上皮細胞が容易に単離できるのでin vitroの実験が可能になった。さらにアデノウイルスにRab38-cDNAを組み込んで細胞、動物個体に発現させ研究できるようになった。こうして偶然釣り上げられた1個のRab38遺伝子が肺サーファクタントのホメオスターシスに関与し、その破綻は肺病変につながるという事実を解明する一連の研究ができた事をうれしく思う。



A series of 20 horizontal dotted lines, evenly spaced, occupying the middle and lower portion of the page, likely intended for writing or drawing.

日本肺サーファクタント・界面医学会
第52回学術研究会 プログラム・抄録集

会 期：平成28年10月29日（土）

会 場：金沢医科大学病院

会 長：長内 和弘（金沢医科大学呼吸器内科学）

発行所：〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1-1

金沢医科大学呼吸器内科学

TEL：076-286-2211（内）3531

E-mail：respirat@kanazawa-med.ac.jp

出 版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

<http://www.secand.jp/>

